

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ（健康・福祉）

施策名称		総括評価	今後の方向性
1健康づくりの推進	B	各成果指標は、目標値には達していませんが、市民満足度調査においては、重要度が増加しており、市民の意識や関心が高いことが伺われます。今後も目標値に近づけるよう各事業を展開し、市民満足度の向上に努めます。	「第二次いしおか健康応援プラン」に基づいて、健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関する事業を展開していきます。
2地域医療の充実	C	令和元年度までは、初期救急及び二次救急の医療体制を確保できていましたが、令和2年7月から医師不足等により、初期救急体制がない状況になっています。今後は、初期救急体制の確保のほか、必要な医療体制の整備に向けて早急に対応を検討し、方針を決定していく必要があります。	石岡地域医療計画の基本理念等に基づき、近隣市や関係機関等と連携の上、今後の地域医療対策について、具体的な方策を決定してまいります。
3子育て環境の充実	B	児童手当や児童扶養手当など子育て世代に対する支援につきましては法に基づいて適正に行っております。また市内の公立・私立の保育施設の運営においては、多様化する保育ニーズに対応するべく、利用定員の見直しを行うことで待機児童数ゼロを維持しています。	子どもを産み、育てやすい環境づくりのため、関係部署と連携して、子ども・子育て支援プランに基づいて、事業の実施に努めてまいります。
4高齢者福祉や介護予防の充実	B	高齢者世帯やひとり暮らし高齢者世帯が増加しております。また、日常生活支援総合事業対象者、要支援者及び要介護者のサービス利用者数も増加傾向にあります。介護保険事業を含め高齢者関連事業は、令和2年度までが計画期間である第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき、各種施策や事業を適正な水準で実施しています。	高齢者が生きがいを持って現役で活躍できるよう社会参加活動を進めつつ、地域で安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。
5障がい者福祉の充実	B	障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより、障がい者の自立や社会参加等の推進が図られています。	障がい者各人の障がい（特徴）を認識し、地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ（健康・福祉）

施策名称		総括評価	今後の方向性
6地域福祉の充実	B	<p>避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが、台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。</p>	<p>支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう、行政、地域住民、民生委員・児童委員、社会福祉協議会などが連携して支援をしていきます。</p>
7生活困窮者等の自立支援	B	<p>生活困窮者への各種助言や就労支援員による就労相談、ハローワークとの連携により生活困窮者の就労支援は概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う支援員による面接等は、年間延べ188回実施しました。</p>	<p>相談員の質的な向上を図るとともに、関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。</p>
8社会保障制度の安定した運営	A	<p>国民健康保険事業の特定健康診査受診率は年々増加していますが、目標値に達していないため更なる受診勧奨等の対応が必要です。 医療福祉は、対象を18歳まで拡大したことにより、負担軽減が図られました。 介護保険事業では、第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。</p>	<p>関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。</p>

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	01健康づくりの推進
具体的取り組み例	各種健康診査，疾病予防のための健康づくり事業の実施，予防接種の助成

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		各成果指標は、目標値には達していませんが、市民満足度調査においては、重要度が増加しており、市民の意識や関心が高いことが伺われます。今後も目標値に近づけるよう各事業を展開し、市民満足度の向上に努めます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		「第二次いしおか健康応援プラン」に基づいて、健康寿命の延伸を目指し、健康づくりに関する事業を展開していきます。

2 主要事業の概要

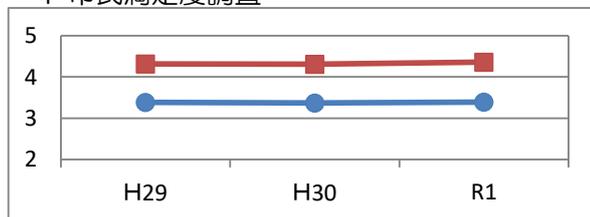
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
成人保健事業【健康増進課】	集団検診（子宮がん・乳がん検診）に合わせて、大腸がん検診も同時に実施し健診日を増やしたことで受診者が増加しました。今後も健康診査・がん検診の受けやすい体制を整備します。若い世代から健康づくり行動を身に付け、自主的に健康維持・増進ができるように支援します。
健康づくり推進事業【健康増進課】	石岡市民に多いとされる高血圧をはじめとした生活習慣病予防のため、食生活改善推進員の協力を得ながら野菜摂取量増加及び適塩の普及啓発活動を実施し、参加者数が増加しました。今後も効果的な事業が実施できるよう、さらに事業内容を検討するとともに、食生活改善事業を広く周知し、より多くの参加者を募ります。
母子保健事業【健康増進課】	妊婦歯科健診は、開始から2年が経過し受診者数が増加しました。今後も妊娠期から乳幼児期の健康診査や訪問等を充実させ、安心して子育てができる環境を整え、健康づくりを推進します。
予防接種事業【健康増進課】	あらゆる機会を通じて接種勧奨を実施し、接種率の向上につながっています。今後も継続して定期予防接種（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ、麻疹風しん、日本脳炎、BCG、小児肺炎球菌、ヒブ、HPV、水痘、B型肝炎、高齢者肺炎球菌、高齢者インフルエンザ・風しんの追加的対策）任意予防接種（小児インフルエンザ、おたふくかぜ、ロタ、成人風しん、高齢者肺炎球菌（定期接種対象外））について、接種勧奨や接種費用の助成を行います。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
乳児家庭訪問の実施率	4か月までの乳児のいる家庭への全戸家庭訪問	%	98.3 (H28)	99.0	97.7
自分の健康に関心のある女性	市の行なう子宮・乳がん検診を受診した女性の人数	人	4,111 (H28)	4,500	4,105
成人歯科検診を受けた市民	市の行なう成人歯科検診を受診した人数	人	268 (H28)	320	273
健康づくりに関心のある市民	食生活改善推進員として健康づくりに関心をもち活動する人数	人	128 (H29)	140	120

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.38	4.32
平成30年度調査	3.37	4.31
令和元年度調査	3.39	4.36

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	02地域医療の充実
具体的取り組み例	休日・夜間の診療体制の確保，二次救急診療の当番病院への運営補助，地域医療に係る懇談会・報告会等の開催

1 総括評価

進捗状況評価	C	総括評価
		令和元年度までは、初期救急及び二次救急の医療体制を確保できていましたが、令和2年7月から医師不足等により、初期救急体制がない状況になっています。今後は、初期救急体制の確保のほか、必要な医療体制の整備に向けて早急に対応を検討し、方針を決定していく必要があります。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		石岡地域医療計画の基本理念等に基づき、近隣市や関係機関等と連携の上、今後の地域医療対策について、具体的な方策を決定してまいります。

2 主要事業の概要

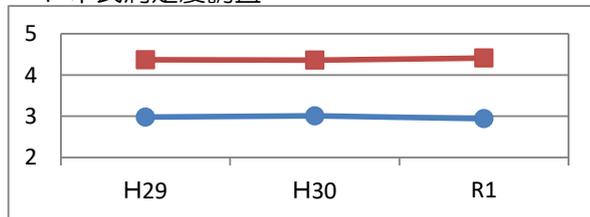
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
保健衛生一般事務費【健康増進課】	第二次救急医療機関の協力のもと、診療予定日どおり診療を行いました。今後も市民へのセーフティネット提供のために、継続して実施します。
診療業務費【健康増進課】	緊急診療，外科の在宅当番については、近隣市や関係機関と連携し、市民へのセーフティネットの提供のために、事業の復活を目指します。
献血推進事業【健康増進課】	血液の安定的な供給の確保を進めるため、県や赤十字血液センターと連携し、献血推進事業に伴う普及啓発に務めました。同様に、骨髄ドナーについても関係団体と連携し、骨髄等の移植に関する正しい知識の普及、新規登録者の確保のための取り組みを今後も継続していく必要があります。
地域医療対策事業【健康増進課】	令和元年度に石岡地域医療計画を策定しました。今後は、石岡地域医療計画の基本理念等に基づき、近隣市や関係機関等と連携の上、地域に必要な医療体制の整備に向けて地域医療対策事業を推進していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
緊急診療・在宅当番医開設率	緊急診療等の開設予定日に対する実施率	%	100.0 (H28)	100	100
第二次救急医療病院群輪番制診療実施率	診療予定日における診療実施率	%	100.0 (H28)	100	100
地域医療に係る懇談会・報告会等の開催	懇談会・報告会等の開催回数	回	0 (H29)	3	8

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.98	4.37
平成30年度調査	3.01	4.36
令和元年度調査	2.94	4.41

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	03子育て環境の充実
具体的取り組み例	保育事業，放課後児童健全育成事業

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		児童手当や児童扶養手当など子育て世代に対する支援につきましては法に基づいて適正に行っております。また市内の公立・私立の保育施設の運営においては、多様化する保育ニーズに対応するべく、利用定員の見直しを行うことで待機児童数ゼロを維持しています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		子どもを産み、育てやすい環境づくりのため、関係部署と連携して、子ども・子育て支援プランに基づいて、事業の実施に努めてまいります。

2 主要事業の概要

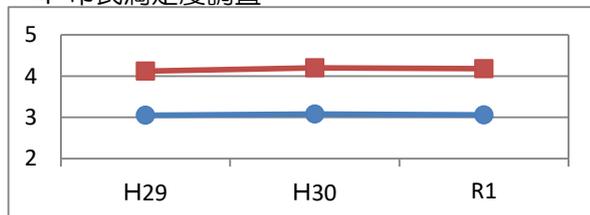
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
子育て支援事業【こども福祉課】	幼児期の学校教育や保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的に推進することにより、子どもを産み、育てやすい環境作りを進めます。また、子どもの育ちに係る費用を支援することにより、子育てしやすい環境を整え、少子化を抑制することを目指します。
保育支援関係経費【こども福祉課】	国の基準を遵守して事業を行っています。今後も多様化する教育・保育サービスに対応して実施いたします。
子育て世代包括支援センター事業【健康増進課】	子育て世代包括支援センターを2か所に増やしたことで、妊婦面談の増加につながりました。今後も子育て相談がしやすい環境づくりを整え、社会資源の情報集約と関係機関との連携を図ることで、妊娠期から子育て期の支援の充実を図ります。
放課後児童健全育成事業【生涯学習課】	公立児童クラブ運営の効率化、支援員の資質向上と確保に努めるとともに、民間学童保育事業者の参入を促すため、石岡市放課後子どもプラン運営委員会において公立児童クラブの民間委託の検討を実施しました。また、保護者の早く預けたい、遅くまで預けたいという要望に対応するため、時間延長も検討していきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
待機児童数	入所資格を有するも、市内の保育所に入所できない児童数	人	0 (H28)	0	0
地域子育て支援センター利用者数	年間の延べ利用者数	人	27,020 (H28)	27,500	27,010
児童クラブ利用者数	学童保育を利用する児童数	人	793 (H28)	800	882

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.05	4.12
平成30年度調査	3.08	4.20
令和元年度調査	3.06	4.18

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	04高齢者福祉や介護予防の充実
具体的取り組み例	高齢者が生きがいを持って活躍できる環境をつくり、介護予防活動普及のための人材を育成

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	高齢者世帯やひとり暮らし高齢世帯が増加しております。また、日常生活支援総合事業対象者、要支援者及び要介護者のサービス利用者数も増加傾向にあります。介護保険事業を含め高齢者関連事業は、令和2年度までが計画期間である第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき、各種施策や事業を適正な水準で実施しています。
		今後の方向性	高齢者が生きがいを持って現役で活躍できるよう社会参加活動を進めつつ、地域で安心して暮らせる在宅福祉事業の充実を目指していきます。
		A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	

2 主要事業の概要

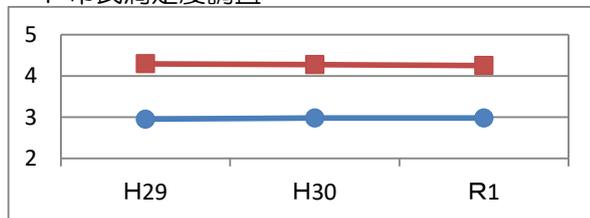
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生涯現役事業【高齢福祉課】	高齢者一人ひとりが、生きがいを持って対象講座等に参加することで、介護予防に繋がることから事業の必要性があり、継続して実施していきます。
高齢者等支援事業【高齢福祉課】	今後も、高齢者が健康で、生きがいを持って積極的に社会参加ができる環境を目指して事業の継続を実施していきます。
介護サービス事業会計（総括）【高齢福祉課】	国は社会保障制度と税の一体改革を進めており、「認知症施策」「在宅医療・介護連携の推進」「生活支援体制整備」等、介護サービスの効率化及び重点化を図りつつ、必要な介護サービスの確保を掲げています。このような制度改革に合わせ、事業の展開を行っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
生涯現役プラチナ応援事業登録者数	市内に住所を有する65歳以上の方の登録者数	人	3,760 (H28)	8,100	5,503
総合相談件数	地域包括支援センター・在宅介護支援センター相談対応延べ件数	件	15,855 (H28)	18,500	17,317
介護予防教室等参加者数	介護予防講演会や介護予防教室参加延べ人数	人	5,589 (H28)	5,900	8,282
シルバーリハビリ体操指導士養成数	シルバーリハビリ体操指導士3級養成延数	人	116 (H29)	196	155

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.95	4.29
平成30年度調査	2.98	4.27
令和元年度調査	2.98	4.25

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	05障がい者福祉の充実
具体的取り組み例	障害福祉サービス費の給付，補装具の支給，地域活動支援センターの運営

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		障害福祉サービスや地域生活支援事業のサービスなどにより，障がい者の自立や社会参加等の推進が図られています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		障がい者各人の障がい（特徴）を認識し，地域社会で等しく暮らせるよう健常者の理解の促進を進めていきます。

2 主要事業の概要

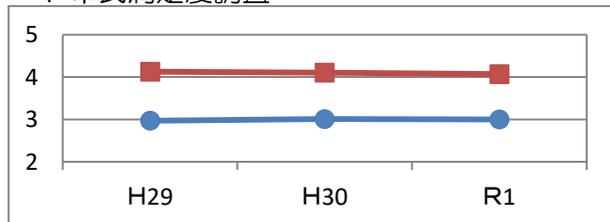
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
障害者自立支援給付事業【社会福祉課】	障害福祉サービス費の給付や自立支援医療の給付，補装具費の支給等により障がい者を支え，障がい者の自立や社会参加等の推進が図られるため，適切であると考えられます。今後も達成できるよう，必要な障害福祉サービス事務に努めていきます。
障害者地域生活支援事業【社会福祉課】	地域で生活する障がい者のニーズを踏まえ，地域の実情に応じた事業を実施し，障がい者の自立を支援していきます。今後も障がい者の社会的知識の習得や日常生活の場所として事業所の周知を図っていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
障害者就労施設への物品等発注	市や市の委託事業等で物品等を発注した障害者就労施設の数	施設	5 (H28)	6	6
障がい者と健常者の交流	障がい者スポーツ大会へのボランティア参加者数	人	85 (H28)	90	91

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.97	4.13
平成30年度調査	3.01	4.10
令和元年度調査	3.00	4.07

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	06地域福祉の充実
具体的取り組み例	地域住民や専門家等による支援体制の整備，支援が必要な一人暮らし世帯の見守り活動

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		避難行動要支援者避難支援登録台帳の地域支援者を確保することが課題ですが，台帳登録者と地域住民との関わりを見据えながら地域支援者の確保を進めていく必要があります。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		今後の方向性
		支援が必要な住民が住み慣れた地域で今後も暮らせるよう，行政，地域住民，民生委員・児童委員，社会福祉協議会などが連携して支援をしていきます。

2 主要事業の概要

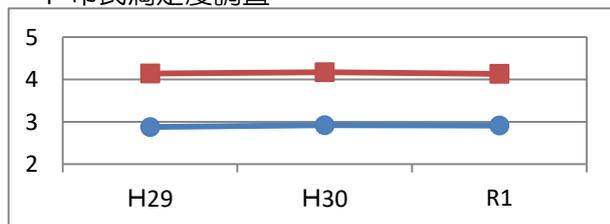
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
民生委員等経費【社会福祉課】	民生委員・児童委員が地域と行政のパイプ役となり，また地域支えあいとなることで高齢者，障がい者，その他の援助を必要とする人が地域で独立した生活を営めるようにしていきます。
福祉バス維持管理経費【高齢福祉課】	高齢者人口の増加に伴い，老人クラブや福祉関係団体等の会員の増加や各種事業の拡大により申請件数の増加が予想されますが委託事業者において安全な運行管理を行っていきます。 申請方法等を検討していく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
避難行動要支援者に対する地域支援者数	避難行動要支援者台帳登録者の地域支援者の確保割合	%	49.6 (H29)	75	58.7
地域ケアシステムチーム数	年度内の在宅ケアチーム数	チーム	174 (H29)	180	178

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.88	4.13
平成30年度調査	2.92	4.17
令和元年度調査	2.91	4.13

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があられるのびやかなまちへ
基本施策	07生活困窮者等の自立支援
具体的取り組み例	生活困窮者の求職支援，ハローワークと連携した就労支援

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		生活困窮者への各種助言や就労支援員による就労相談，ハローワークとの連携により生活困窮者の就労支援は概ね順調に進んでいます。 生活困窮者自立支援法に基づいた就労支援を行う支援員による面接等は，年間延べ188回実施しました。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		相談員の質的な向上を図るとともに，関係機関とより連携した支援を行うことができるよう事業の充実を図っていきます。

2 主要事業の概要

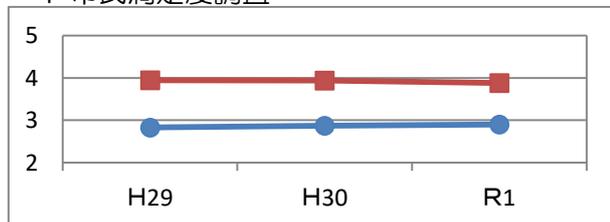
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
生活保護適正実施推進事業【社会福祉課】	レセプト点検により，過誤調整を実施し，費用の削減を行いました。今後も国のセーフティーネット支援対策事業に基づき運用していきます。
生活保護費【社会福祉課】	今後も生活保護法に基づいた事業運営を行っていきます。
生活困窮者自立支援事業【社会福祉課】	広報等に努め，相談件数や支援件数が増えるよう取り組む必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
就労による自立世帯数	就労した世帯のうち，増収に伴い生活保護から自立した世帯の割合	%	23 (H28)	30	19
生活保護廃止世帯のうち自立した世帯数	生活保護が廃止された世帯のうち自立により廃止された世帯の割合	%	38 (H28)	40	36

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.83	3.94
平成30年度調査	2.87	3.94
令和元年度調査	2.90	3.88

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	05健康で笑顔があふれるのびやかなまちへ
基本施策	08社会保障制度の安定した運営
具体的取り組み例	特定健康診査・特定保健指導事業，医療費の自己負担を一部助成，介護サービスの実施

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		国民健康保険事業の特定健康診査受診率は年々増加していますが、目標値に達していないため更なる受診勧奨等の対応が必要です。医療福祉は、対象を18歳まで拡大したことにより、負担軽減が図られました。介護保険事業では、第7期石岡ふれあい長寿プランに基づき各種施策や事業が実施され、順調に進んでいます。
	B C D	今後の方向性
		関係機関との連携を図り、安定した運営に努めます。

2 主要事業の概要

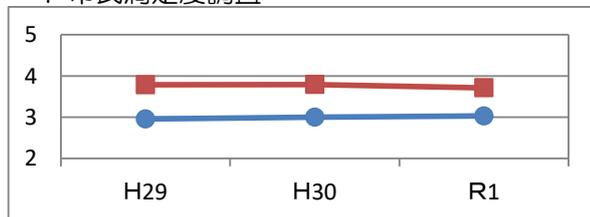
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
国民健康保険会計 （総括）【保険年金課】	国民健康保険は、平成30年度から県が財政運営の責任主体となり、市町村は引き続き資格管理、保険給付、保険税の賦課・徴収及び保健事業等を実施していきます。収納率は、前年度を下回りました。今後も納税相談や収納対策により収納率の向上に努めるとともに保健事業を展開し、医療費の適正化に努めます。
医療福祉市単独事業 【保険年金課】	小児の外来・調剤を令和元年10月から18歳まで拡大したことにより、県の助成制度を含め0歳から18歳までの外来・調剤・入院のすべてが助成の対象となり、出産及び子育てにかかる負担軽減が図られました。今後は、厳しい財政状況の中、制度が持続できるよう適切な受診を呼び掛けていきます。
介護保険特別会計 （総括）【高齢福祉課】	高齢者の増加とそれに応じた需要増が見込まれるため、事業規模が拡大していくことが見込まれている。そのため、事業の継続性と適正性の確保が求められている。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
国民健康保険税収納率・ (一般被保険者分)	国民健康保険税収納額／国民健康保険税調定額	%	91.1 (H28)	92	92.3
特定健康診査実施率	特定健康診査受診者数／特定健康診査受診対象者数	%	36.7 (H28)	60	37.1 (H30)
特定保健指導指導率	特定保健指導実施者／特定保健指導対象者数	%	41.6 (H28)	60	51.2 (H30)
介護保険料収納率 (現年度)	介護保険料収納額／介護保険料調定額	%	98.1 (H28)	98.2	98.6

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.96	3.79
平成30年度調査	3.00	3.79
令和元年度調査	3.03	3.71